

「災害に強いまちづくりガイドライン」 洪水氾濫の追加に係る改定概要

令和5年5月 国土交通省中部地方整備局



●災害に強いまちづくりガイドラインの概要

①策定の目的と利用方法

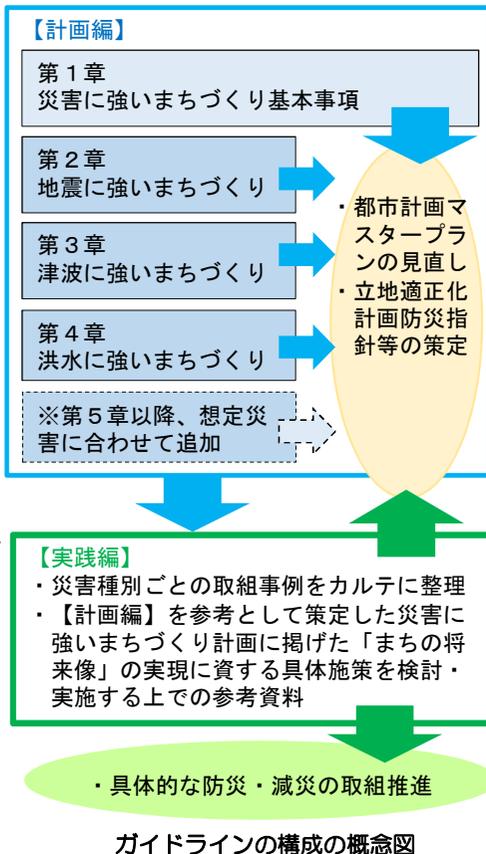
- 南海トラフ巨大地震をはじめとする中部圏で起こりうる自然災害に対し、災害に強いまちづくりの推進に資する計画立案や施策実施時の参考資料として策定
- 都市計画マスタープランや立地適正化計画防災指針、防災・減災対策を総合的に進めるための計画策定、施策実施時の着眼点・留意点を整理
- 地方公共団体（市町村）の防災・減災、都市計画・都市整備の所管課職員の利用を想定

②対象災害

- 地震、津波、洪水氾濫、高潮、土砂災害等中部圏に起こりうる自然災害を対象
- 今回のガイドラインは地震、津波に加え、**洪水氾濫（外水）に関する内容**を掲載

③改定の考え方

- 内水氾濫、高潮、土砂災害に関する内容を順次追加・更新
- 想定災害の追加に伴って新たに必要となる内容を追加・更新
- 自治体職員の要望に応える内容を追加・充実
- 施策や社会状況の変化を反映した修正・時点更新



●洪水氾濫の追加に伴う主な改定内容

【計画編】改定のポイント

●改定ポイント！「第1章 災害に強いまちづくり基本事項」

- ◆洪水氾濫に対応した「災害に強いまちづくり施策体系（例）」を追加
 - ・避難、都市構造、組織や人づくり、事前復興の4テーマを柱とした洪水氾濫に対応する施策体系（例）を作成・追加
- ◆防災性の向上を示す指標設定のポイントを追加
 - ①災害に強いまちづくりの目標と取組に沿った指標の検討
 - ②ハード・ソフト両面の評価指標の設定

●改定ポイント！「第4章 洪水に強いまちづくり」

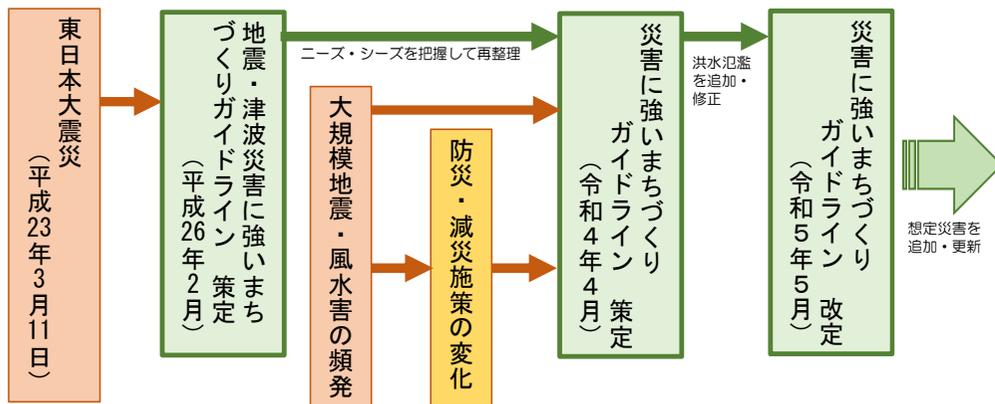
※今回の改定では外水氾濫を想定

- ◆流域全体で考える洪水対策
 - ①氾濫をできるだけ防ぐ
 - ②被害の軽減・早期復旧・復興
- ◆洪水に強いまちづくり計画の検討
 - ①洪水リスクの分析・評価
 - ②許容する災害リスクとまちづくりの取組の検討
 - ③優先順位を考慮した対策の検討
- ◆洪水に強いまちの整備
 - ①市街地整備と連携した下水道施設の整備推進、雨水流出抑制
 - ②建築物の浸水被害の軽減対策
 - ③大規模洪水時の避難場所の確保と物資等の備蓄
- ◆地区レベルの防災性向上にむけたルールづくり
 - ①できるところから進めるまちづくり
 - ②ルールづくりへの合意形成を重視
- ◆避難行動の強化
 - ①避難を判断する情報の理解促進
 - ②早期避難の体制づくり
 - ③避難先・避難手段を考慮した行動検討



図 河口付近の市街地のまちづくりイメージ図

<「災害に強いまちづくりガイドライン」のあゆみとこれから>



【実践編】洪水氾濫に対応する取組事例を新たに掲載

リスク回避

リスク低減

●改定ポイント！

- ◆防災・減災の基本的な考え方に沿ってハード・ソフトの取組事例を掲載
- 「安全で確実な避難」「洪水に強い都市構造」「災害に強い組織・人づくり」「事前復興」の4つのテーマに沿ったハード・ソフトの取組事例を掲載
- ◆立地適正化計画防災指針の検討支援
- 取組事例に対策の目的を示すことで、防災指針に掲載する施策検討を支援



※その他、立地適正化計画防災指針検討に資する資料を参考資料として掲載